

浦山庄作さんの「玉川くだり」 優秀作品に選ばれる

(財)日本民謡協会の平成18年度新作民謡募集で浦山庄作さん(田沢湖田沢)が作詞し、千葉県の鶴家奏英さんが作曲し、応募した「玉川くだり」が優秀作品に選ばれました。

優秀作品に選ばれた「玉川くだり」は、6年前の「仙北米よし節」に続いて2度目の優秀作品になります。10月12日から両国国技館(東京都)で開催される平成18年度民謡民舞全国大会で披露されることが決まり、「全国大会の大舞台で披露されることは、本当にうれしい」と、感想を語ってくれました。

この「玉川くだり」は、4年前に作詞したもので、幼いころ遊んだ懐かしさ、玉川温泉や男神山・女神山、秋田駒ヶ岳、田沢湖、抱返り溪谷の自然の豊かさを表現した作品となっています。

玉川くだり

作詞 浦山庄作
作曲 鶴家奏英

ハー男神女神のお山を見れば
村は宝仙湖タマシに消えたとして

サテサテサテナ

変わることはないノ、仲なのよさ
ソリヤマタイイナイイジャナイカ

※5節からなる
「玉川くだり」から一部抜粋

戦没者の冥福を祈る 仙北市戦没者追悼式

戦没者をしのぶ仙北市戦没者追悼式が8月10日、角館広域交流センターを会場に行われ、遺族、関係者など約200人が参列しました。

式では石黒市長が「戦争を知らない世代が年々多くなっている今日、戦争の記憶を決して風化させることなく、『戦争の悲惨さ、平和の尊さ』を若い世代に語り継いでいかなければならない。合併後初の合同の追悼式となり、これを機会に郷土の新しい時代を担う子どもたちの健全な育成や市民一人ひとりが夢と希望を持ち、豊かで幸せな暮らしができるよう、福祉・医療の充実、さらには力ある地域をつくるための諸施策の実現に邁進することを誓い、ここに御霊のご冥福を祈り、ご遺族皆様のご多幸を祈念します」と式辞を述べました。



続いて参列者が順に献花台に花を供え、戦没者の冥福を祈りました。



手話サークル開催中! みなさんも手話にふれてみませんか?

田沢湖公民館との共催事業として、小松龍子さんが田沢湖総合開発センターで手話サークルを開催しています。サークルは7月27日からスタートし、会員13人が毎週木曜日、楽しく手話を学んでいます。

会員は小松さんや永井さんから、それぞれ名前の表現を教わり、自己紹介の練習など、手話を楽しみながら学んでいました。

小松さんは「気軽な気持ちで見学に来ていただきたい」と語ってくれました。

なお、このサークルでは随時会員を募集しています。参加したい人は田沢湖公民館(電話43-1061)まで連絡してください。



小松さんから生年月日を教わる会員